

証券コード：3577

東海染工株式会社

第 103 期

# 報 告 書

2022 年 4 月 1 日 から

2023 年 3 月 31 日 まで

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。当社第103期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業年度が終了いたしましたので、ここに事業の概要および決算の状況等をご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

代表取締役社長 鷲 裕 一

## 事業の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰やサプライチェーンの混乱に加え、円安進行に伴う物価高騰、インフレ圧力の強まりによる欧米の金融引締めなど依然として厳しい状況で推移しました。

一方、新型コロナウイルス感染症におきましては、行動規制や水際対策などの段階的な緩和に加え、2023年5月8日には感染症法上の位置づけが5類感染症に移行されるなど、経済活動正常化への期待が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは、国内染色加工事業では、業界全体の課題となっている適正価格への価格転嫁を図るべく加工料金値上げの実施、原材料・エネルギー価格の高騰や原材料の供給不安に対する設備改善・改良、加工工程の省略、原材料の適量使用を推進したほか、同業他社の廃業や体制変更による振替受注の取込み強化、環境に配慮した節水活動、CO2排出量削減、薬品回収・再利用など、SDGsの達成に向けた取組みについても継続実施しております。

海外染色加工事業では、主力のインドネシア子会社においては、受注環境は改善方向にあり、新規取引先の開拓など、受注増加に向けた取組みを強化しております。また、原材料・エネルギー価格高騰への対応として、設備改善・改良、加工条件適正化、薬品の回収効率化、熱エネルギー効率利用などの原価低減活動を推進しました。

タイ国子会社では、急激な市況の変化により捺染受注が大幅に落ち込み、状況の改善が見通せないことから、2022年12月末をもって捺染事業から撤退しております。

保育サービス事業では、新規拠点開設に加え、株式会社マミーズを連結子会社化しました。

また、働く保護者様への支援・負担軽減を目的とした、保育用品の定額制レンタルサービスの提供を開始しました。

洗濯事業では、ホテルリネンの回復や新規アイテムの取込など、取扱数量の増加に注力しました。また、原材料・エネルギー価格の高騰に伴い、価格改定を実施しました。

これらの結果、売上高は13,057百万円（前期比17.2%増、1,914百万円増）となり、営業利益は51百万円（前期比29.3%減、21百万円減）、経常利益は189百万円（前期比64.8%増、74百万円増）、親会社株主に帰属する当期純損失は100百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益48百万円）となりました。

## 各事業分野の状況

### ①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は9,156百万円（前期比14.7%増、1,172百万円増）となり、営業損失は265百万円（前期は営業損失71百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

#### （加工料部門）

国内では、原綿価格の高騰、円安進行により生地値が上昇し、割高感から発注数量は減少となりました。原材料・エネルギーなど全てのコストが未だ上昇を続けており、使用原単位削減などのコスト削減活動の推進に注力しました。

また、価格転嫁につきましては、加工料値上げを3回に渡り実施するも原材料・エネルギーの価格高騰により吸収するまでには至っておりません。

海外では、市況の回復による受注数量の増加に加え、加工料値上げの実施により増収となりました。

しかしながら、国内同様に原材料・エネルギー価格の高騰などの生産コスト上昇により、収益率は悪化しました。

これらの結果、加工料部門の売上高は7,347百万円（前期比11.0%増、727百万円増）となりました。

#### （テキスタイル販売部門）

国内では、売上数量は減少したものの、販売単価上昇により増収となりました。

また、海外においては、市況の回復に伴う受注数量の増加および販売単価の上昇により、増収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は1,808百万円（前期比32.6%増、445百万円増）となりました。

### ②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、シャツやブラウス、パジャマなどの縫製品販売数量の増加により、売上高は340百万円（前期比62.9%増、131百万円増）、営業利益は14百万円（前期は営業損失13百万円）となりました。

### ③保育サービス事業

保育サービス事業は、新規拠点開設（認可保育園2件、企業内保育所2件）、株式会社マミーズの連結子会社化による売上の増加に加え、拠点開設準備費用や採用費・その他費用の見直しにより、売上高は3,334百万円（前期比21.0%増、579百万円増）、営業利益は206百万円（前期比150.4%増、124百万円増）となりました。

#### ④倉庫事業

倉庫事業は、新規取引先との取組み効果もあり、売上は微増となりましたが、燃料価格や運賃ほか各種コスト上昇の影響を受け、売上高は242百万円（前期比0.1%増、0百万円増）、営業利益は16百万円（前期比44.0%減、13百万円減）となりました。

#### ⑤機械販売事業

機械販売事業は、新型コロナウイルス感染症に対する行動規制や水際対策の緩和に伴い、国内外とも営業活動が再開、保守点検依頼や新規受注は増加しており、売上高は42百万円（前期比29.8%増、9百万円増）、営業損失は3百万円（前期は営業損失17百万円）となりました。

#### ⑥洗濯事業

洗濯事業は、政府や自治体による観光需要喚起策に伴うホテルリネンの回復、新規アイテム受注による取扱量の増加、原材料・エネルギー価格高騰に対応するため価格改定や生産性向上・体制見直しを実施した結果、売上高は119百万円（前期比30.2%増、27百万円増）、営業利益は6百万円（前期は営業損失6百万円）となりました。

#### ⑦その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は93百万円（前期比8.2%増、7百万円増）、営業利益は73百万円（前期比6.4%増、4百万円増）となりました。

## 対処すべき課題

当社グループは、中長期的な経営戦略を実現するために、次の課題の展開を図ります。

### ①国内染色加工事業の受注拡大に向けた取組み

新型コロナウイルス感染症対策において、政府は社会経済活動の大幅な緩和に踏み出しており、景気回復の兆しが見え始めております。また、国内の染色加工業界は、原材料・エネルギー価格の異常かつ急激な上昇、適正な価格転嫁の遅れから廃業や生産規模縮小を公表された企業が相次いでおります。

このような状況下、国内染色加工場再編による発注要望の高まりや産業用ユニフォーム受注を積極的に取り込むとともに、各取引先様との取組み強化、特殊加工品の拡大、新商品提案などを通じて受注拡大を図ってまいります。

### ②製造コスト上昇への対応および環境への配慮

当社グループでは、各拠点にて徹底したコストの見直し、生産性向上・効率化を実施した上で、適正な価格改定、価格転嫁を進めてまいります。全てのコストが高止まりするなか、薬品回収・再利用の徹底、工程省略化、コストダウンを目的とした工程や加工基準の見直しを積極的に実施することで製造コストの削減を図ることと収益力強化を目指します。

また、コスト削減活動により、原材料やエネルギー使用量が削減され、結果的に省エネ・環境配慮への貢献にも繋がると考えております。

### ③保育関連事業の拡大および子育て支援事業の推進

保育サービス事業では、企業内保育所の運営受託拡大を積極的に進めるとともに、働く保護者様への支援・負担軽減を目的とした、保育用品の定額制レンタルサービスの拡充を図ってまいります。

また、2023年4月1日に発足された、こども家庭庁が推進することも・子育て政策に則った、子育て支援事業への参画のための準備を進めております。

### ④その他、非繊維事業の拡大

洗濯事業は、社会経済活動の制限緩和に伴いホテルリネンの回復が見込まれております。また、客先との取組み強化、新規客先開拓を進めることで事業の拡大を図ってまいります。

機械販売事業については、国内・海外とも保守点検依頼・新規設備導入の問合せが増加しており、染色関連設備や薬液濃度制御装置の販売強化に努めてまいります。

当社グループは、今後も新たな事業を積極的に発掘・開拓し、非繊維事業の強化・拡大に努めてまいります。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結 会計年度	当連結 会計年度	科 目	前連結 会計年度	当連結 会計年度
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,968</b>	<b>6,550</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,198</b>	<b>3,781</b>
現金及び預金	2,321	2,501	支払手形及び買掛金	640	645
受取手形及び売掛金	1,933	2,010	電子記録債務	553	624
電子記録債権	522	650	短期借入金	1,010	1,380
たな卸資産	907	1,151	未払費用	523	634
その他	297	251	未払法人税等	61	78
貸倒引当金	△13	△14	賞与引当金	126	121
			その他	282	296
<b>固定資産</b>	<b>7,415</b>	<b>7,387</b>	<b>固定負債</b>	<b>3,030</b>	<b>2,840</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,125</b>	<b>5,004</b>	長期借入金	1,525	1,390
建物及び構築物	1,341	1,443	繰延税金負債	294	225
機械装置及び運搬具	1,719	1,625	退職給付に係る負債	771	728
土地	1,757	1,768	役員退職慰労引当金	26	28
建設仮勘定	119	7	その他	413	468
その他	186	159	<b>負債合計</b>	<b>6,228</b>	<b>6,621</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>60</b>	<b>111</b>	<b>純資産の部</b>		
のれん	—	23	<b>株主資本</b>	<b>6,603</b>	<b>6,371</b>
その他	60	87	資本金	4,300	4,300
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,228</b>	<b>2,271</b>	資本剰余金	1,400	1,400
投資有価証券	1,885	2,045	利益剰余金	1,538	1,373
繰延税金資産	27	—	自己株式	△635	△701
その他	396	307	<b>その他の包括利益</b>	<b>△408</b>	<b>△141</b>
貸倒引当金	△81	△81	<b>累計額</b>		
<b>資産合計</b>	<b>13,384</b>	<b>13,938</b>	その他有価証券評価 差額金	430	614
			為替換算調整勘定	△815	△734
			退職給付に係る 調整累計額	△23	△21
			<b>非支配株主持分</b>	<b>960</b>	<b>1,086</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>7,155</b>	<b>7,316</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>13,384</b>	<b>13,938</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結 会計年度	当連結 会計年度
売上高	11,142	13,057
売上原価	9,641	11,512
売上総利益	1,501	1,544
販売費及び 一般管理費	1,428	1,492
営業利益	73	51
営業外収益	75	174
営業外費用	34	37
経常利益	115	189
特別利益	181	105
特別損失	120	134
税金等調整前 当期純利益	176	160
法人税、住民税 及び事業税	98	139
法人税等調整額	△32	10
当期純利益	110	10
非支配株主に帰属 する当期純利益	61	111
親会社株主に帰属す る当期純利益	48	△100

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結 会計年度	当連結 会計年度
営業活動による キャッシュ・フロー	57	189
投資活動による キャッシュ・フロー	123	△99
財務活動による キャッシュ・フロー	△49	26
現金及び現金同等物 に係る換算差額	55	63
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	186	180
現金及び現金同等物 の期首残高	2,134	2,321
現金及び現金同等物 の期末残高	2,321	2,501

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2022年4月1日期首残高	4,300	1,400	1,538	△635	6,603	△408	960	7,155
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△64		△64			△64
親会社株主に帰属す る当期純損失			△100		△100			△100
自己株式の取得				△66	△66			△66
株主資本以外の項目の連結会 計年度中の変動額(純額)						266	125	392
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△165	△66	△231	266	125	161
2023年3月31日期末残高	4,300	1,400	1,373	△701	6,371	△141	1,086	7,316

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度	当事業年度	科 目	前事業年度	当事業年度
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>3,479</b>	<b>3,530</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,347</b>	<b>2,910</b>
現金及び預金	1,130	971	買掛金	274	337
受取手形	215	136	電子記録債務	553	624
売掛金	905	944	短期借入金	1,010	1,380
電子記録債権	522	650	未払費用	257	302
たな卸資産	508	674	未払法人税等	37	33
その他	211	169	その他	214	232
貸倒引当金	△14	△16	<b>固定負債</b>	<b>2,768</b>	<b>2,575</b>
<b>固定資産</b>	<b>8,648</b>	<b>8,824</b>	長期借入金	1,525	1,390
<b>有形固定資産</b>	<b>4,504</b>	<b>4,424</b>	繰延税金負債	295	252
建物	910	862	退職給付引当金	563	539
機械装置	1,256	1,238	その他	385	393
土地	2,241	2,241	<b>負債合計</b>	<b>5,116</b>	<b>5,485</b>
その他	96	81	<b>純資産の部</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>30</b>	<b>61</b>	<b>株主資本</b>	<b>6,581</b>	<b>6,254</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,113</b>	<b>4,338</b>	資本金	4,300	4,300
投資有価証券	3,676	3,837	資本剰余金	1,400	1,400
その他の投資	519	584	利益剰余金	1,517	1,256
貸倒引当金	△82	△83	自己株式	△635	△701
<b>資産合計</b>	<b>12,128</b>	<b>12,354</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>430</b>	<b>614</b>
			その他有価証券評価差額金	430	614
			<b>純資産合計</b>	<b>7,011</b>	<b>6,869</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>12,128</b>	<b>12,354</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前事業年度	当事業年度
売上高	5,424	5,699
売上原価	4,768	5,212
売上総利益	655	487
販売費及び一般管理費	813	830
営業利益	△158	△343
営業外収益	108	186
営業外費用	23	19
経常利益	△72	△176
特別利益	110	—
特別損失	—	17
税引前当期純利益	37	△193
法人税、住民税及び事業税	△9	△11
法人税等調整額	△24	14
当期純利益	71	△196

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2022年4月1日期首残高	4,300	1,400	1,517	△635	6,581	430	7,011
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△64		△64		△64
当期純損失			△196		△196		△196
自己株式の取得				△66	△66		△66
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						184	184
事業年度中の変動額合計	—	—	△260	△66	△326	184	△142
2023年3月31日期末残高	4,300	1,400	1,256	△701	6,254	614	6,869

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 当社および当社グループ

### 当社

本店 : 愛知県清須市西枇杷島町子新田 1 番地の 2  
本社 : 名古屋市市中村区名駅三丁目28番12号 大名古屋ビルヂング  
支社 : 大阪（大阪市中央区）  
営業所 : 東京（東京都中央区）  
工場 : 名古屋（本店）、浜松（静岡県浜松市）  
岐阜（岐阜県羽島市）

### 当社グループ

TKサポート株式会社 本店：名古屋市中村区  
株式会社トットメイト 本店：愛知県清須市  
株式会社マミーズ 本店：名古屋市中村区  
株式会社デッサン・ジュン 本店：大阪市中央区  
株式会社東海トレーディング 本店：愛知県清須市  
TOKAI DYEING CO., (THAILAND) LTD. タイ王国  
P. T. TOKAI TEXPRINT INDONESIA インドネシア共和国

- (注) 1. 株式会社マミーズにつきましては、当社の連結子会社である株式会社トットメイトが、2022年3月29日に株式譲渡契約書を締結し、2022年5月27日に株式取得に関する手続きが完了いたしましたので連結子会社を含めております。
2. 当社と株式会社東海トレーディングは、2023年4月1日付で、当社を存続会社、株式会社東海トレーディングを消滅会社とする吸収合併をいたしました。

## 取締役および監査役(2023年6月29日現在)

取 締 役 会 長	八 代 芳 明
取締役社長(代表取締役)	鷲 裕 一
取締役専務(代表取締役)	八 代 健 太 郎
取 締 役	川 本 修
取 締 役	河 西 勝
取 締 役(社外取締役)	古 池 威
取 締 役(社外取締役)	増 田 芳 隆
常 勤 監 査 役	後 藤 裕 介
監 査 役(社外監査役)	本 多 敏 美
監 査 役(社外監査役)	宇 佐 見 一 美

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	毎年3月31日
	なお、中間配当を実施するときの基準日は9月30日です。
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	同上
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所プレミアム市場
公告の方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.tokai-senko.co.jp/">https://www.tokai-senko.co.jp/</a>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(単元未満株式をお持ちの株主様へ)

当社に対し買取請求または買増請求が可能です。詳しくは、お取引のある証券会社または特別口座管理機関にお問合せください。

